

## 令和2(2020)年「正覚寺報」5月号

## お知らせ

五月度は、年に一度の「降誕会(ごうたんえ)」の他、仏教壮年会月例の「お聴聞の会」、仏婦人会の「例会」をお心積もり戴いていました。

ところが、パンデミック(感染症の世界的大流行)が現実のものとなった新型コロナウイルスはなかなか治まらず、とうとう全都道府県に向けて緊急事態宣言が発出されてしまいました。

ついては、役員会ではかりましたところ、五月末までの正覚寺の下記ご法座は、国全体の窮状に鑑み、配慮の姿勢を示す上で、やむをえずお休みすることと致しました。

折角楽しみにしていただいていたお友達、御門徒の皆様には申し訳ないことですが、どうか、ご理解、ご容赦を戴きますようお願い申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(五月度はお休み)

仏教婦人会例会 (五月度はお休み)

降誕会(本年度はお休み致します)

## 新型コロナウイルスへの対処の仕方に学ぶ

専門家の指示による対コロナウイルス戦略は、基本的に三密(密閉、密集、密接)を避けることだとされてきました。この為、非感染者が取り得る唯一の手段は、現在のところ人との接触を控えること以外にありません。

三密を避けるため、折角の行事も開催を自粛するよりありません。楽しみにして戴いていた「降誕会」が中止に追い込まれたのはそのためです。これは悲しいできごとでもあります。

クラスター(感染者集団)が把握できなくなると感染拡大を押さえることは困難になりますから、感染者の数値報道で一喜一憂するのでは意味がありません。

ノーベル賞の本庶先生のお話では、死者数/抗体保有者数がインフルエンザと同一レベルになったら心配には及ばないと4/22のプライムニュースでおっしゃいました。死者数/感染者数は、東京で2.5%です。インフルでは、0.1%と聞きます。新型コロナウイルスの抗体保有者数は、ロスアンゼルスデータですが、感染者数の55倍だそうです。そうすると死者数/抗体者数は、今でも $2.5\% \div 55 = 0.45\%$ になります。

初めて出現したウイルスは、抗体保有者が少ないという事実がありますが、それなら、抗体者数の増加と共に徐々に治まっていくと云えますので、寧ろ社会活動を再開できる基準を明確化する報道が待たれるところです。

インフル治療薬には新型コロナウイルスに効くものがあると聞きます。そうすると、毎年新型コロナウイルスが出現するとみて、高齢者は早めにインフル予防注射を受けて基礎疾患予防することも効果があると云えることになります。

## 念仏者の行動性を促すロジックを求めて

浄土真宗の究極のご法義は、如来様から信心一つを賜って浄土往生が定まり、今生では苦惱から解放され、摂取不捨のご利益に与ることだとされます。そのご法義に恵まれる者が、どのように自らの生涯を仏道として歩むかについては、お聖教ではその御指南が極めて少ないと云われます(Ref 天岸 浄圓師『無明の酔いをさます阿弥陀仏の薬』P18)。では、どう頂戴するかについては、りびんぐらいぶずで採り上げます。合掌。